【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成20年5月8日(2008.5.8)

【公表番号】特表2003-530466(P2003-530466A)
【公表日】平成15年10月14日(2003.10.14)
【出願番号】特願2001-575653(P2001-575653)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｂ　11/02　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｂ　11/02

【手続補正書】
【提出日】平成20年3月12日(2008.3.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
セルロースエーテルの水溶液を製造する場合に発生する上述の問題を最小限にするために、種々の溶液が提案されている：即ち、
セルロースエーテル粉末を相応するセルロースエーテルの凝集点以上の温度の水に散布し、次いでゆっくり冷やすことができる。セルロースエーテルは、温度を下げた際に徐々に溶液に成る以前に、塊状化することなく水に均一に分散する。しかしながらこの方法は時間が懸かりそして水を加熱するための装置を必要とする。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３３】
次いで４９．３％濃度の苛性ソーダ溶液の第二部分を添加しそしてセルロースの使用量を規準として両方の水酸化ナトリウム部分量の合計モル当量に相当する量の塩化メチルを添加しそして適当なメチル基置換度が達成されるまでの間９０～１００℃で反応を継続させる。